

はるかぜ

発行 第4号
 〒861-4157
 熊本市南区富合町
 古閑994-1
 社会福祉法人 はるかぜ会
 Tel.096-358-4117
 《編集・発行》
 はるかぜ会 広報委員会

施設長挨拶



はるかぜ会
 施設長 隈部 成宏

これからも地域と共に

今回の熊本地震におきましては被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震では幸いに、利用者の皆様や職員の負傷等はありませんでしたが、富合町古閑の特別養護老人ホームゆうとびあ・ケアハウスアメニティ富合、富合町廻江の小規模多機能型居宅介護よかひより・特定施設彩において断水などで大変ご迷惑をおかけいたしました。

14日の前震、16日の本震の発生時より職員がそれぞれの施設へ駆けつけて対応をさせて頂きました。私たちの役割上おにも、一人暮らしの方・高齢な方々を中心とする避難先として5月9日まで対応をいたしておりました。その中で常にあらたに出てくる不安、問題に直面しながらこの3カ月余りを過ごして参りました。

「地域の社会福祉法人」の動きとして本当に十分であったかという反省点があり、これから復興に向かっていくなかで、まだ各住宅の修理も終わっていない状況でこれから起こりうる水害や台風の二次的な災害の対応を行えるように対策を考え、準備を行っている段階にあります。

震災発生時から本当に全国からの駆けつけて下さった自衛隊、消防、警察などその他多数の方々、支援物資を送っていただいた方々、ボランティアで熊本に来ていただいた方々に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。そして何より地域を守って下さった方々に感謝申し上げます。

社会福祉法人はるかぜ会は、「熊本一心」（熊本の皆さんと心をつなげて）またさらに「富合一心・城南一心・宇土一心・山鹿一心」で震災からの復興、未来に向かって皆様と歩んで参ります。

ご支援ありがとうございました

4月14日の熊本地震以降に報道を見て熊本と皆さまの力になれたらと大型連休等に様々な県からたくさんの方たちがおはるかぜ会にボランティアに来てくださいました。ボランティアの皆さまのあたたかい心にふれ、利用者の皆さまをはじめ、私たち職員も勇気づけられ無事、熊本地震を乗り切る事ができました。また、様々な団体・個人様よりご支援をいただき、たくさんの方の避難者の方を受け入れることができました。この場をお借りし心よりお礼を申し上げます。

ボランティアの皆様

- 東京都 岩沢るみ子様 埼玉県 内田千枝様
- 京都府 岸絵里子様 八代市 Y・F様
- 福岡県 家永千夏様 宮崎県 木幡礼子様
- 宮崎県 木幡愛里様 (順不同)

支援物資協力の皆様

- ウーパールワールド様 ひかりの園様
- (株)ナリコマフード様 大洋株式会社様
- 御船タイワ運輸業様 熊本酒井物産様
- 熊本青年会議所様 しょうやく様
- (株)清和ヒジネス様 Cイメージカル様
- 熊本地震 熊本支援チーム様 (順不同)

※この度、個人の方々からたくさんのご支援をいただきましたが氏名の記載は控えさせていただきます。たくさんのご支援ありがとうございました。

ボランティア紹介

成松 瞳 様



皆さまから元気をもらい、私も楽しんでます。



成松様は、『張り合いのある仕事がしたい』『地域づくりに参加をして自分の生きがいづくりをしたい』といった思いから、長年はるかぜ会の様々な事業所に来られています。熊本地震以降も皆さまを笑顔にしたいとボランティアを続けられており職員一同とても感謝しています。日舞等の催物のボランティアだけではなく、毎週デイサービスセンターゆうとびあで銭太鼓やレクリエーションを行われています。談笑や休憩を上手に取り入れながら行われており、利用者の皆さまからは『あたと話すと元気のでる』といった声が聞かれ、皆さまにとって、とても楽しい時間になっています。

第2回みんなの夏祭り

日時：平成28年8月7日(日)
 17時~19時
 場所：放課後クラブ ばれっと(山鹿市)

夏祭りではスイカ割り、水入れ競争、山鹿灯籠踊り、ポッキーダンスや抽選会等を予定しております。また、バザーでは焼きそばや唐揚げ、フライドポテト、かき氷、カレー、ヨーヨー・スーパーボールすくい、射的もあります。

皆様のお越しをお待ちしています。



編集後記

みなさん、こんにちは。今回の熊本地震では富合町も大きな被害を受けました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。地震により家はもちろん、心にも大きな爪痕を残しました。はるかぜ会では皆さんと共にこれからの地域復興のため微力ながらではあります。ですが、広報誌ではこれからもご利用者様の活動やいろいろな情報を掲載してまいりますので、ご覧して頂けると幸いです。



はるかぜ会 畑・田んぼ作り隊を結成！

チャレンジダイアリー

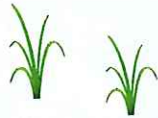


山鹿市方保田の畑をお借りし、宮本真也さん、弟ご夫婦にお世話になり、2月28日にじゃがいもの植え付け、6月12日にははるかぜ会の職員と家族で収穫を行いました。作業の間には用水路の水をせき止めて工夫して遊んでいる子供たち、職員の半分は大変さを感じながら鍬を持ち、農作業の体験をしました。

また、放課後等デイサービスの子供たちも畑に入り、じゃがいもの収穫を喜び、ミズに触れる等、自然とふれあう時間を楽しんでくれました。ふかして塩をつけて食べたアツアツのじゃがいもは最高においしかったですよ。

お米作りにもチャレンジ！宮本真也さんと95歳になられる叔母様にご指導を受けながら、ロープを引っ張り、昔ながらの手植えでの作業です。腰が痛くなりながらも植え終えた後の達成感はなんとも充実したものでした。秋の稲刈りが楽しみです。手刈りして日干しでの米作りを予定しています。参加できる方は是非ともご参加下さい。

はるかぜ会では、将来の夢としてある程度のお米を自分で作れるようになればと思っています。また、地域の活性化、そして、放課後等デイサービスの子供たちの就労支援の一部を担う事が出来ればという希望を抱いております。



■今回、初めて田植えを体験したさくらちゃんの感想

田植えのやり方を見たときはかんたんそうだったけど、じっさいにやってみるととてもむずかしかったので、みんなが力を合わせてやっとお米がたべられるんだなあとのそからおもいました。

■畑・田んぼ作り隊の隊員を募集しています。興味のある方はぜひ一度体験してみませんか？

事業所紹介

はるかぜ会には、富合町・山鹿市にいろんな事業所があります。今回は富合町にあるデイサービスセンターゆうとびあホームヘルプステーションゆうとびあをご紹介します。

デイサービスセンターゆうとびあ (富合町)

デイサービスセンターゆうとびあでは6月1日から各サービス毎にスタンプカードを発行しています。それぞれのカードで利用者様の目標達成ごとにお祝いをしていきます。

たとえば「さるくカード」は365歩のマーチに合わせて利用者全員で歩いています。1回ごとに1ポイントを押し、楽しみながら自然に元気になるためのカードです。

またご利用回数が30回を迎えた方には夢の実現のお手伝いをいたします。実家の墓参りに行きたい、温泉に行きたい、旧友に会いたい等、利用者様からたくさんの夢や希望を伺い、一緒に考え実現していきたいと思っております。デイサービスが通いの機能だけでなく、わが家から地域の場所へ、また地域資源へと繋がる事が出来る場所になれるように・・・それぞれの利用者様に応じたサービスの提供を行ってまいります。

楽しみ！やる気！元気！



「頑張ってますよ。」
笑顔が輝いています。



楽しみながらポイントを貯めてみなさんの
思いにお応えします。



夢に向かって！たくさんの方が
参加されています。

ホームヘルプステーション ゆうとびあ (富合町)

ホームヘルプステーションゆうとびあは『総合福祉施設 ゆうとびあ』の1階にあり、現在7名のスタッフが活動しています。ご自宅で安心して生活ができるように支援しています。

◇訪問介護 ホームヘルプサービスとは？

ホームヘルパーがご自宅を訪問して、必要なサービスを行います。入浴や食事、排泄等の介助を行う「身体介護」や調理や掃除等を行う「生活援助」、ご自宅での生活に関するサービスや日常生活でのアドバイスを行っています。

◇生活の中でこんな困りごとはありませんか？

- ・お風呂に一人で入るのは不安だ。
- ・掃除や洗濯などを手伝ってほしい。



何かお困りの事が有ればご相談下さい。または担当ケアマネージャーや地域包括支援センターへご相談ください。



私たちがご自宅をお伺いし、
お手伝いさせていただきます。